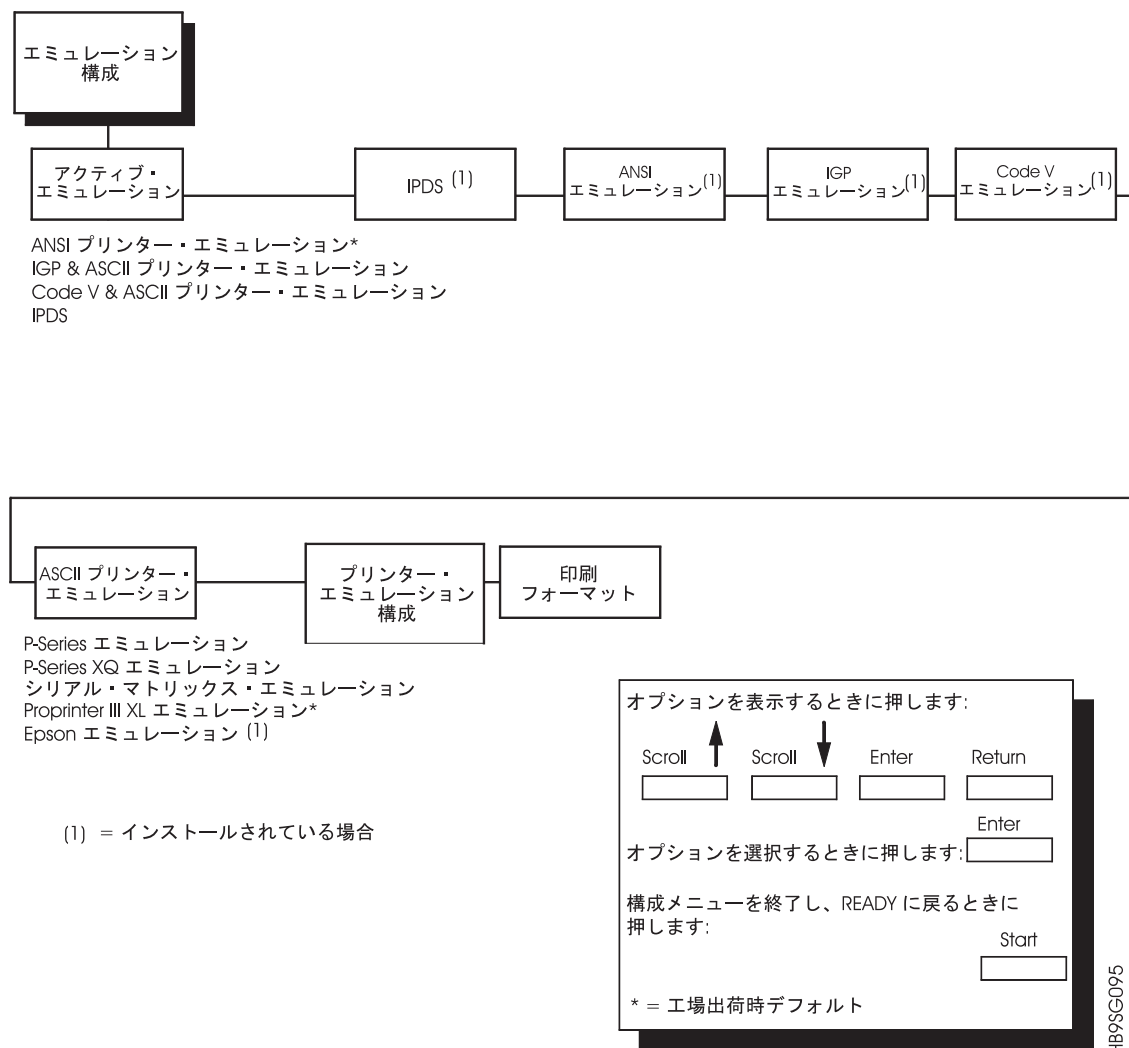


エミュレーション構成メニュー



(1) = インストールされている場合

ユーザーのプリンターは多数のエミュレーションをサポートすることができます。Proprinter III XL、Epson、P-Series、P-Series XQ、および Serial Matrix がサポートされています。これらのエミュレーションはプリンターに組み込まれています。

プリンターは、IPDS、Code V、および IGP など他のエミュレーションをサポートすることができます。これらのエミュレーションは、別個に発注する必要がある機構です。(これらの機構は、機構がプリンターとともに発注された場合には、工場に取り付けられている場合があります。) IPDS 同軸/平衡型エミュレーションの場合は、IBM 同軸/平衡型機構が取り付けられている必要があります。

アクティブ・エミュレーション

このパラメーターを使用して、次のいずれかのエミュレーションを選択できます。

- **ANSI Emulation** (デフォルト)
- **IGP**
- **Code V**

- IPDS

IPDS 機構

構成

プリンターの操作上の設定をホスト・コンピューターの設定と一致させることは、「プリンターの構成」と呼ばれます。設定値、またはホスト・インターフェースの選択などの構成パラメーターは、オペレーター・パネル・キーの説明に従って調整されます。IPDS の構成は、他の機構についてプリンターを構成するのと同じ方法で行います。

IPDS デフォルト・パラメーターの選択は、本章で説明されているようにオペレーター・パネルから直接行うか、または「*6400 IPDS Programmer's Reference Manual*」に説明されているようにアプリケーション・コマンドによって行うことができます。

IPDS パラメーター

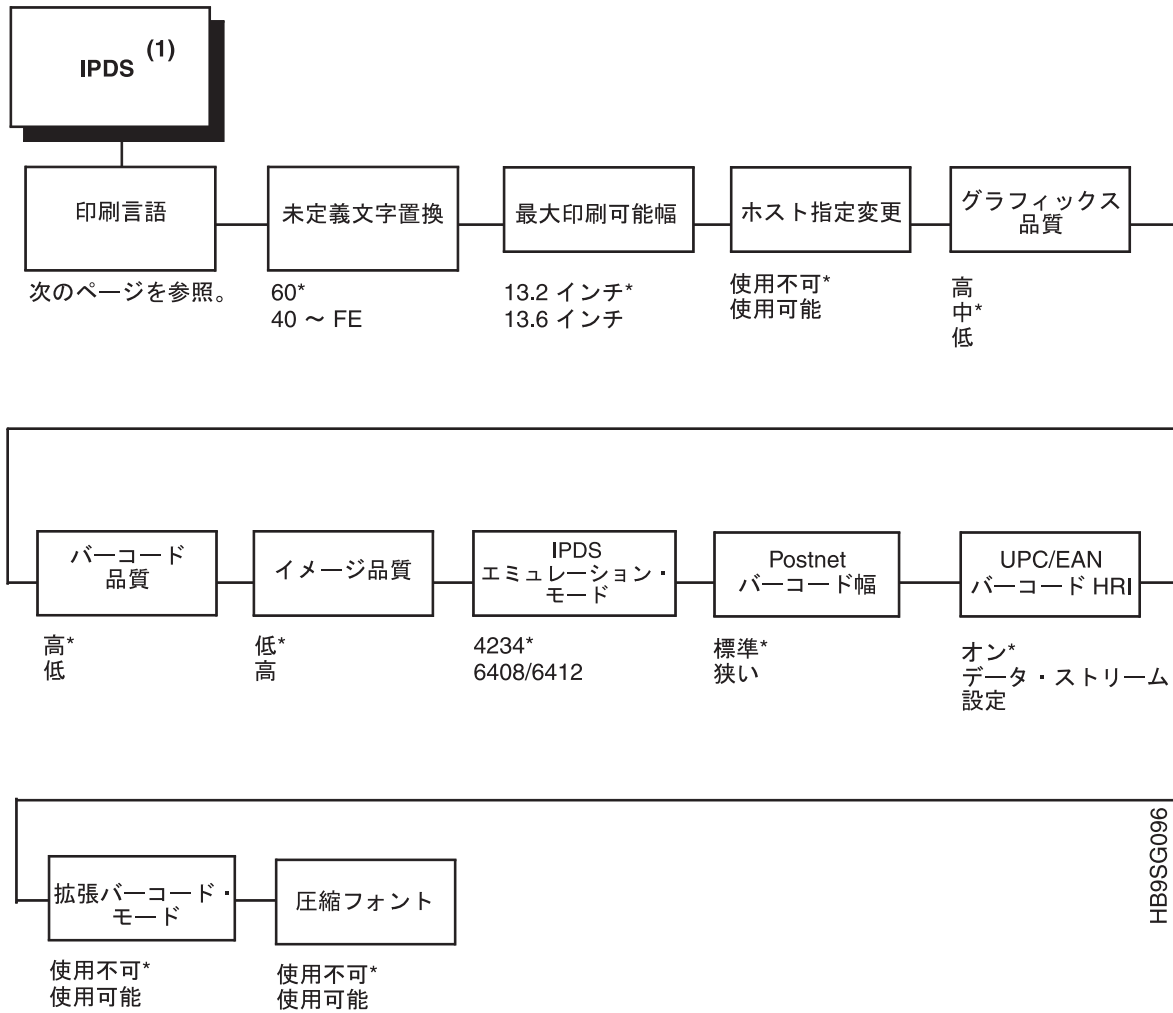
IPDS パラメーターについては、次のページで説明されています。アスタリスク (*) が付けられているパラメーターは、デフォルト値であることを示しています。構成構造に入るためにはプリンターはオフラインである必要があります。

IPDS 構成メニューに出入りするには、『第 3 章 プリンターの構成』の構成手順に従います。パラメーターを入力するのに無効なキーを押すと、構成内の別のレベルに移動するか、あるいは構成メニューから完全に出てしまいます。

重要: IPDS を再構成する前に、構成シートを印刷して、現行設定値をすべて確認してください。65 ページの『現在の構成の印刷』を参照してください。

ユーザーの特定要件に従って IPDS を構成します。IPDS 構成メニューは次ページに記載されています。

IPDS 構成メニュー





- 0037 English (USA/Canada)*
- 0037 English (Netherlands)
- 0285 English (UK/Ireland)
- 0273 Austrian/German
- 0274 Belgian Old
- 0275 Brazilian
- 0260 Canadian French
- 0277 Danish/Norwegian
- 0287 Danish/Norwegian (Alternate)
- 0278 Finnish/Swedish
- 0288 Finnish/Swedish (Alternate)
- 0297 French/French Azerty
- 0500 International Set 5
- 0280 Italian
- 0281 Japanese English
- 0282 Portuguese
- 0284 Spanish/Spanish Speaking
- 0289 Spanish (Alternate)
- 0500 Swiss Bilingual
- 0500 Belgian New
- 0803 Hebrew Old (089)
- 0424 Hebrew
- 0892 ORC A
- 0892 ORC B
- 0420 Arabic
- 0880 Cyrillic Old
- 0423 Greek Old
- 0875 Greek New (Euro)
- 0871 Icelandic
- 0290 Japanese Katakana
- 0870 Latin 2/Roece/Multilingual
- 0838 Thai
- 1026 Turkish
- 0890 Yugoslav Old
- 1097 Farsi
- 1025 Cyrillic Multilingual
- 0905 Turkish Old
- 0256 International Set 1
- 0924 Euro Latin 9
- 1140 Euro English (USA/Canada)
- 1141 Euro Austrian/German
- 1142 Euro Danish/Norwegian
- 1143 Euro Finnish/Swedish
- 1144 Euro Italian
- 1145 Euro Spanish Speaking
- 1146 Euro English (UK/Ireland)
- 1147 Euro French (Azerty 105)
- 1148 Euro Swiss Bilingual
- 1149 Euro Icelandic
- 1112 Baltic Multilingual
- OCR-B Katakana
- 1122 Estonian

オプションを表示するときに押します:

Scroll	↑	Scroll	↓	Enter	Return
<input type="text"/>		<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>

オプションを選択するときに押します: Enter

構成メニューを終了し、READYに戻るときに押します: Start

* = 工場出荷時デフォルト

HB9SG097

印刷言語: PRINT LANGUAGE は、プリンターによって使用される印刷言語を指定します。印刷言語メニューについては、前のページを参照してください。

OCR A または OCR B の印刷品質を指定すると、印刷言語は OCR A または OCR B に変更されます。

OCR A または OCR B がデフォルト印刷言語として選択されると、このパラメータでは OCR A および OCR B のみが使用可能な値となります。別の印刷品質値を求めている場合は、最初に印刷品質を変更する必要があります。

未定義文字置換 (同軸 IPDS): 未定義文字置換は、同軸インターフェース・メニュー選択の下でアクセスされます。この構成値は、同軸上の IPDS にのみ適用されます。未定義文字置換は、ホストによって受け取られた印刷不能文字の代わりに印刷される置換文字を指定します。

文字コード・ポイントは、40 Hex ~ FE Hex の範囲を取ることができます。工場出荷時のデフォルトは、Hex 60 に設定されています。

最大印刷可能幅: Maximum Printable Width (最大印刷可能幅) は、CT ホスト・インターフェースを使用しているときに、プリンターの最大幅を設定します。

- 13.2 インチ (デフォルト)
- 13.6 インチ

ホスト指定変更 (エミュレーション構成): ホスト指定変更は、IPDS メニューに指定された値をオペレーター・パネルで指定変更するかどうかを決定します。

次の 2 つの値のどちらかを選択します。

- **Disable.** デフォルト。オペレーター・パネル設定値を IPDS アプリケーション・コマンドに指定変更することはできません。
- **Enable.** オペレーター・パネル設定値を IPDS アプリケーション・コマンドに指定変更することができます。

IPDS メニュー値に指定された IPDS アプリケーション・コマンドは次のとおりです。

- グラフィックス品質
- バーコード品質
- イメージ品質

注: 他の IPDS メニュー値またはプリンター・オペレーター・パネルは、ホスト指定変更によって影響を受けません。上にリストした 3 つの値のみが影響を受けます。

グラフィックス品質: グラフィックス印刷の品質を決定します。これらの設定を使用するには、ホスト指定変更が使用できるようにする必要があります。サポートされる解像度をここにベルで示します。

- **High.** 縦方向が 144 で、水平方向が 180。
- **Medium.** デフォルト。縦方向が 144 で、水平方向が 120。
- **Low.** 縦方向が 72 で、水平方向が 60。

注: 高い解像度を選択するほど、印刷速度は低下します。解像度を選択する際は、アプリケーションが要求する解像度品質と印刷ジョブを印刷したい速度のバランスを取るようにしてください。

バーコード品質: グラフィックス印刷の品質を決定します。これらの設定を使用するには、ホスト指定変更が使用できるようにする必要があります。下記は回転していないバーコードの値です。

- **High**。(デフォルト。) 縦方向が 144 で、水平方向が 120。
- **Low**。縦方向が 72 で、水平方向が 60。

注: 高い解像度を選択するほど、印刷速度は低下します。解像度を選択する際は、アプリケーションが要求する解像度品質と印刷ジョブを印刷したい速度のバランスを取るようにしてください。

イメージ品質: イメージ印刷の品質を決定します。イメージ品質を使用するには、ホスト指定変更が使用できるようにする必要があります。ホスト指定変更を使用不可にする場合には、イメージは 144 x 144 であると想定され、イメージは 120 x 144 で印刷されます。

- **High**。イメージを 120 x 144 で受け入れ、イメージを 120 x 144 で印刷します。この設定では、イメージは現状のまま印刷され、変換を必要としません。変換は必要がないので、元のイメージと印刷されたイメージの間の同一性の度合いは増します。
- **Low**。(デフォルト。) イメージを 144 x 144 で受け入れ、イメージを 120 x 144 で印刷します。この設定では、イメージは 144 x 144 から 120 x 144 に変換されます。多少の変換が必要とされるため、元のイメージと印刷されたイメージの間には多少違いがあります。詳しくは、下記の注を検討してください。

注: ペル当たり 1 ビットのイメージ・データがあります。ユーザーの印刷ジョブに、144 x 144 で印刷するよう作成されたイメージが含まれる場合 (これは IBM 4234 プリンターではごく普通のことです)、最も適した解像度である 120 x 144 をサポートするためにデータが何ビットか欠落します。

IBM 4234 プリンター用に作成されたイメージを使ってジョブを印刷する場合は、いくつかのサンプルを印刷して結果が満足がいくものであることを確認するとよいでしょう。

IPDS エミュレーション・モード: IPDS にどのタイプのプリンターをサポートさせたいか選択します。4234 をエミュレートすることを選択するか、6408/6412 を選択することができます。ソフトウェア・アプリケーションに基づいて、どのモードを使用するか選択する必要があります。たとえば、PSF/MVS を使用している場合、PSF/MVS は 6408/6412 をサポートしているので、このプリンターを選択することになります。

- **4234**。(デフォルト。) IPDS は 4234 プリンター機能をサポートします。これは、最も頻繁に使用する必要があるデフォルトです。PSF アプリケーションで IPDS を使用する場合は、PSF/MVS の場合を除き、4234 を選択します。

IPDS エミュレーション・モード・メニューで 4234 を選択して、IPDS コマンドの使用については、「6400 IPDS Programmer's Reference Manual」の『第 3 章 IPDS Commands Reference』を検討してください。

- **6408/6412**。IPDS は 6408/6412 プリンター機能をサポートします。IPDS を PSF/MVS とともに使用している場合は、この値を使用します。この値により、IPDS および PSF/MVS は、PSF/MVS によって直接サポートされる 6408/6412 プ

リンター機能を利用することができます。その他の PSF アプリケーションは、このプリンターを 4234 プリンターとしてのみサポートしています。

IPDS エミュレーション・モード・メニューから 6408/6412 を選択する際の IPDS コマンドの使用については、「*6400 IPDS Programmer's Reference Manual*」の『第 4 章 IPDS Command Differences』を検討してください。

注: 値 6408/6412 をデフォルト値として使用したい場合は、6408/6412 をデフォルトとして選択し、値をカスタム設定として保管し、プリンターの電源をオフにして、再びオンにする必要があります。

Postnet バーコード幅: Postnet バーコードの幅を決定します。このオプションは回転されていない Postnet バーコードに適用されます。

- **Standard.** (デフォルト。) Postnet バーコードは標準幅で印刷されます。
- **Narrow.** Postnet バーコードは狭い幅で印刷されます。

注: プリンターは、パフォーマンスを改善するためバーコードをキャッシュに入れます。したがって、この構成値を変更するには、希望する設定を選択し、値をカスタム設定に保管し、次にプリンターの電源をオフにしてからプリンターの電源を再びオンにする必要があります。

UPC/EAN バーコード HRI: バーコード HRI (人間可読情報) が UPC および EAN バーコードを使って印刷されるかどうかを決定します。

- **On.** (デフォルト。) プリンターは、IPDS バーコード・アプリケーション・コマンドに含まれる HRI フラグに関係なく、常に HRI を UPC および EAN バーコードを使って印刷します。
- **Data Stream Setting.** プリンターは IPDS バーコード・アプリケーション・コマンド内で HRI フラグを使用して、HRI を UPC および EAN バーコードを使って印刷するかどうかを決定します。IPDS バーコード・アプリケーション・コマンドについて詳しくは、「*6400 IPDS Programmer's Reference Manual*」を参照してください。

拡張バーコード・モード: 拡張バーコード・モード・オプションは、IPDS バーコード内のドットを織り合わせて、プリンター・リボンを交換しなければならない前により多くのバーコードを印刷できるようにします。

- **Disable.** (デフォルト。) バーコードは、バーコード品質オプションおよび IPDS アプリケーション・コマンドによって決定される、標準品質のいずれかで印刷されます。
- **Enable.** バーコードは拡張モードで印刷されます。

拡張バーコード・モードでは、特定のバーコード・タイプ、サイズ、および方向のみがサポートされています。

- 拡張バーコード・モードでは、単位モジュール幅が 0.017 インチのバーコードのみがサポートされています。
- 回転されていないバーコードの場合、拡張バーコード・モードでは Postnet および Royal Mail を除くすべてのバーコード・タイプがサポートされています。これらの向きで印刷された拡張バーコードは、標準の高品質のバーコードとほぼ同じ速度で印刷されます。

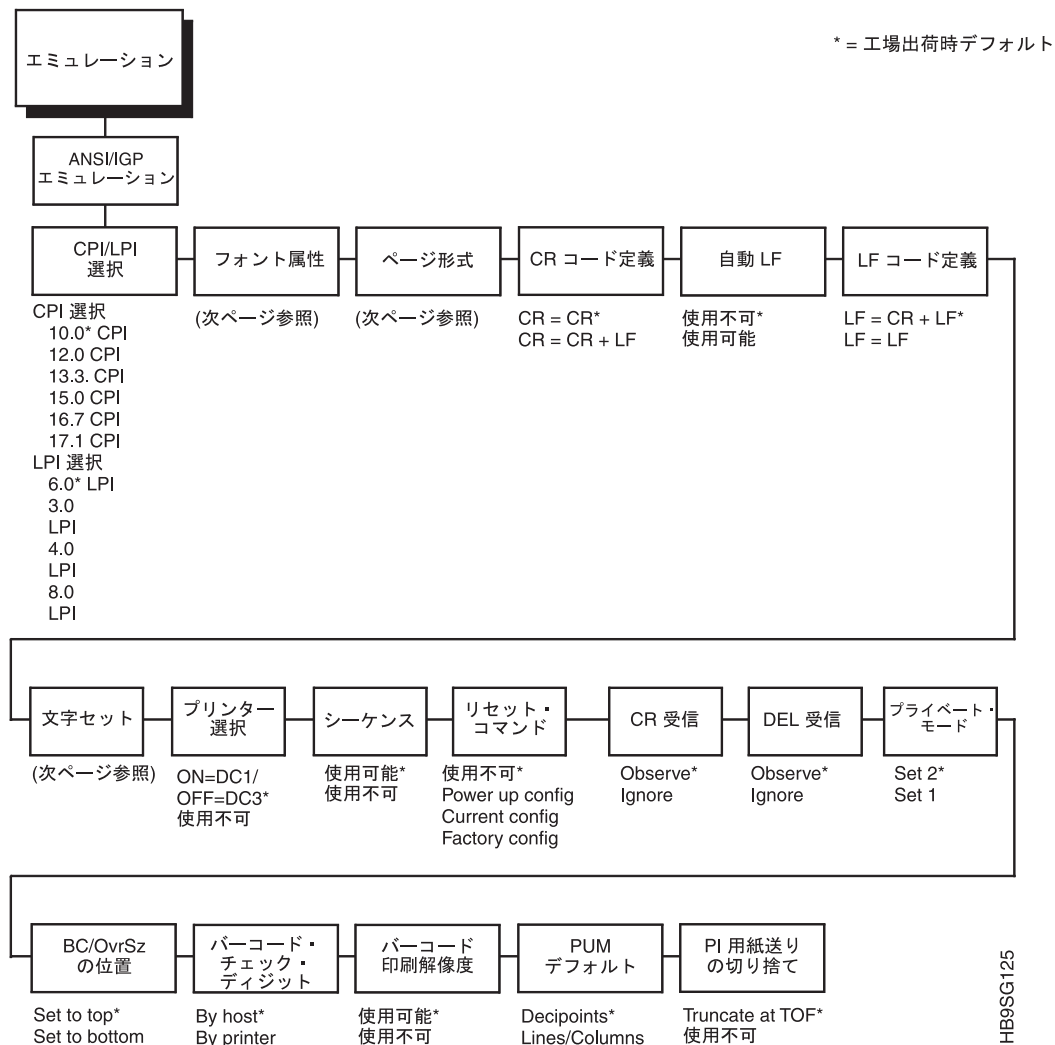
- 回転されたバーコードの場合、拡張バーコード・モードでは、Postnet、Royal Mail、UPC、EAN、および Code 128 を除くすべてのバーコード・タイプがサポートされています。これらの向きで印刷された拡張バーコードは、標準の高品質バーコードより遅い速度で印刷されます。

注: 拡張バーコード・モードで印刷されるバーコードで、このモードでサポートされていないものは、標準の高品質で印刷されます。

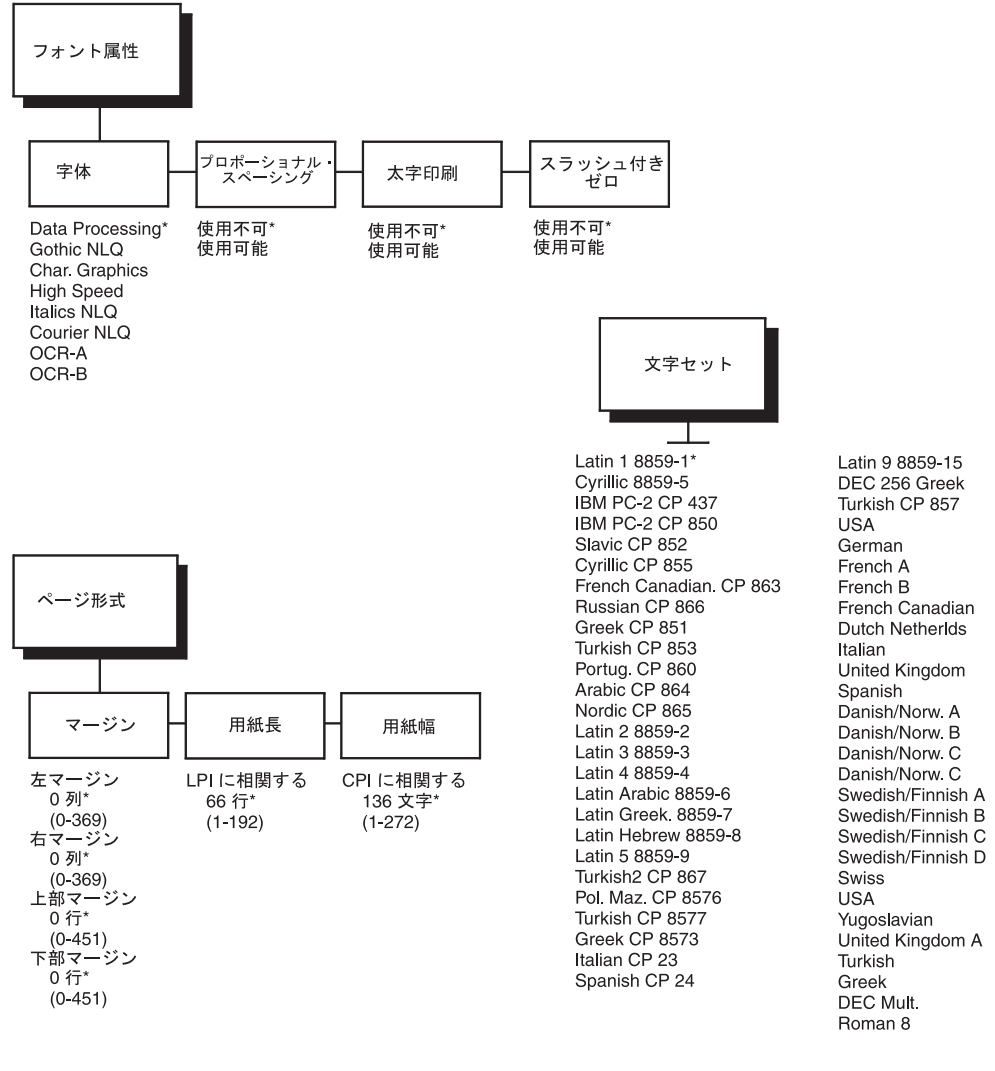
圧縮フォント: 長体フォント・オプションにより、プリンターは、IBM 4234 IPDS プリンターで使用可能な幅が狭められた (短い) フォントを印刷することができます。

- **Disable**。(デフォルト。) 長体フォントが要求されるたびに、通常サイズのフォントが置換されます。
- **Enable**。長体フォントは、IPDS アプリケーション・コマンドによって要求されたときに印刷されます。アプリケーション・コマンドの使用によるこれらのフォントの選択について詳しくは、「6400 IPDS Programmer's Reference Manual」を参照してください。

ANSI



* = 工場出荷時デフォルト



HB9SG126

CPI/LPI 選択

水平方向と垂直方向の文字間隔に対してデフォルト値を定義します。1 インチ当たりの文字数は、10.0 ~ 17.1 文字の範囲です。1 インチ当たりの行数は、3.0 ~ 8.0 行の範囲です。

CPI 選択

- 10.0 CPI (デフォルト)
- 12.0 CPI
- 13.3. CPI
- 15.0 CPI
- 16.7 CPI
- 17.1 CPI

LPI 選択

- 6.0 LPI (デフォルト)

- 3.0 LPI
- 4.0 LPI
- 8.0 LPI

フォント属性

字体: 次にある使用可能なオプションから字体を選択します。

- **Data Processing-** 汎用的なフォントで、水平方向に 120 DPI、垂直方向に 72 DPI で印刷します。フォントの幅は各 CPI 値により変わります。
- **Gothic NLQ-** 高品質なフォントで、水平方向に 180 DPI、垂直方向に 96 DPI で印刷します。このフォントにはセリフ活字があり、フォントの幅は CPI により変わります。
- **Char. Graphics**
- **High Speed-** ドラフト品質のフォントで、水平方向に 120 DPI、垂直方向に 48 DPI で印刷します。フォントの幅は CPI により変わります。
- **Italics NQL**
- **Courier NQL**
- **OCR-A/OCR-B-** 光学式文字認識 (OCR) 用フォントで、水平方向に 120 DPI、垂直方向に 144 DPI で印刷します。OCR-A/OCR-B とともに 10 CPI でのみ印刷します。

プロポーショナル・スペーシング: 印刷される各文字は文字セル内に入っています。文字セルの幅には、その文字と文字周辺のスペースが含まれます。

- **Disable** (デフォルト)。各文字セルは同じ幅で印刷されます。印刷されるテキストの各列は、縦方向にそろいます。
- **Enable**。各文字セルの幅は、文字の幅によって変わります。たとえば、文字「i」は文字「m」よりも少ない間隔で印刷します。一般にプロポーショナル・フォントを使用すると、テキストにタイプセットの体裁を与え、印刷された文書の読みやすさが増します。

太字印刷:

- **Disable** (デフォルト)。テキストは通常の太さで印刷されます。
- **Enable**。テキストは太い線で印刷されます。

スラッシュ付きゼロ: このパラメーターにより、数表示「0」をスラッシュ付きまたはスラッシュなしで印刷できるようになります。このオプションは、OCR-A および OCR-B を除くすべての文字セットに適用されます。

- **Disable** (デフォルト)。「0」にスラッシュを重ねて印刷しません。
- **Enable**。「0」にスラッシュを重ねて印刷します。

ページ形式

マージン:

- **Left Margin**。最も左側に印刷できるカラム位置を定義します。左マージンは、用紙の左端からの文字数として指定されます。

- **Right Margin.** 最も右側に印刷できるカラム位置を定義します。右マージンは、用紙の右端からの文字数として指定されます。
- **Top Margin.** ページ上の最も上に印刷できる位置を定義します。上部マージンは、用紙の上端位置からの行数として指定されます。
- **Bottom Margin.** ページ上で最も下に印刷できる位置を定義します。下部マージンは、用紙の下端位置からの行数として指定されます。

用紙長: 用紙の長さを行数で指定します。行数での最大用紙長は、現行の LPI 設定によって決まります。これは、インチ数での最大用紙長に現行の LPI 設定を乗じた値に等しくなります。たとえば 6 LPI の場合、最大用紙長は 6 LPI x 24 インチ = 144 行となります。有効な用紙長の値のみが受け入れられます。現行の LPI についての最大長より大きい長さを選択する場合は、最大長が使用されます。それより長いページ長が必要な場合は、最初に LPI を変更する必要があります。

重要 用紙長が行数で設定され、LPI を変更する場合、有効なページ長は、文字数での用紙長を新しい LPI で割った長さに変更されます。

注: 用紙長を変更するデータ・ストリーム制御コードを受け取ると、オペレーター・パネルを介して前に指定してあった用紙長は指定変更されます。

用紙幅: 用紙幅を、1 ~ 272 の文字で入力できます。文字数での最大用紙幅は現行の CPI 設定によって決まります。これは、インチ数での最大用紙幅に現行の CPI 設定を乗じた値に等しくなります。有効な用紙幅のみが受け入れられます。現行の CPI について最大幅より大きい幅が選択される場合には、最大幅が使用されます。大きい幅の値を希望する場合には、CPI 値を最初に変更する必要があります。表 3 には、指定の文字数/インチ (CPI) 設定に対応する印刷可能な最大文字数の一覧を記載してあります。

重要 用紙幅が文字数で設定され、CPI が変更される場合、有効なページ幅は用紙幅を新しい CPI で割った数に等しくなるように変更されます。

表 3. 用紙幅

CPI 設定	最大用紙幅 (文字数の単位で)
10.0	136
12.0	163
13.3	181
15.0	204
16.7	227
17.1	272

CR コード定義: CR コード定義オプションは、プリンターがホスト・コンピューターから復帰コード (0D 16 進数) を受け取ったときのプリンターのアクションを制御します。この機能が使用可能にされる場合、プリンターが復帰を受け取るたびに、プリンターは追加の改行コード (0A 16 進数) をデータ・ストリームに挿入します。ホスト・コンピューターがプリンターに改行を送る場合は、この機能を使用しないでください。

- **CR = CR** (デフォルト)。特別な改行コードは挿入されません。

- **CR = CR + LF**。各復帰の後に追加の改行が挿入されます。

自動 LF: 用紙幅設定を超えた印刷データをプリンターが受け取った時のプリンター・アクションを定義します。

- **Disable**。(デフォルト。)用紙幅を超えるすべてのデータを廃棄します。
- **Enable**。用紙幅を超えるデータをプリンターが受け取った時に、自動復帰および改行を実行します。

LF コード定義: プリンターがホスト・コンピューターから改行コード (X'0A') を受け取った時に、そのプリンターのアクションを制御します。この機能を使用可能にすると、プリンターが改行を受け取るたびに追加の復帰コード (X'0D') をデータ・ストリームに挿入します。この機能はほとんどの設置先で使用することができますが、ホスト・コンピューターがプリンターに復帰を送らない場合にはこの機能は必須です。

- **LF = CR + LF** (デフォルト)。各改行に追加の復帰を追加します。
- **LF = LF**。改行に復帰を追加しません。

文字セット: このパラメーターは、ANSI エミュレーションの場合の文字セットを選択します。印刷言語として 0876 OCR-A または 0877 OCR-B を選択すると、フォント属性字体パラメーターが別々に、OCR-A または OCR-B に変更されますので注意してください。文字セットについて詳しくは、「*Character Sets Reference Manual*」に記載してあります。

プリンター選択:

- **ON = DC1/OFF = DC3** (デフォルト)。DC1 制御コードを受け取ったときにプリンターを使用不可にし、DC3 制御コードを受け取ったときにプリンターを使用可能にします。
- **Disable**。DC1 および DC3 制御コードを無視します。

ESC c シーケンス:

- **Enable** (デフォルト)。ESC c コードをホストから受け取ると、プリンターのパラメーターを工場出荷時のデフォルトにリセットします。
- **Disable**。ESC c コードをホストから受け取っても、無視されます。

リセット・コマンド: プリンターが、プリンター変数のリセットに加えてホスト・データ・ストリームのリセット・コマンド (ESC @ または ESC[K) を受け取ると、下記の選択が行われた構成がロードされることになります。

- **Disable** (デフォルト)。アクティブなエミュレーション・パラメーターが、リセット・コマンド実行時にロードされます。
- **Power-Up Config**。電源オン時の構成が、リセット・コマンド実行時にロードされます。
- **Current Config**。この時点で選択済みの構成が、リセット・コマンド実行時にロードされます。
- **Factory Config**。工場出荷時の構成が、リセット・コマンド実行時にロードされます。

CR 受信:

- **Observe** (デフォルト)。ホストから CR コードを受け取った場合、改行として処理されます。
- **Ignore**。CR コードをホストから受け取っても、無視されます。

DEL 受信:

- **Observe** (デフォルト)。ホストから DEL コードを受け取った場合、削除コマンドとして処理されます。
- **Ignore**。DEL コードをホストから受け取っても、無視されます。

プライベート・モード: 文字セットのデフォルト・タイプ (Set 1 または Set 2) を決定します。文字セットのデフォルト・タイプは ESC シーケンスの ESC [>5h および ESC [>5I でも設定可能です。この説明について詳しくは、「ANSI Programmer's Reference Manual」を参照してください。

- **Set 2** (デフォルト)
- **Set 1**

BC/OvrSz の位置:

- **Set to Top** (デフォルト)。バーコードまたは特大文字を印刷した後で、用紙がそのバーコードまたは特大文字の先頭に戻ります。これにより、同一行に再印刷できるようになります。
- **Set to Bottom**。プリンターは上に戻らずに印刷を続行します。

バーコード・チェック・ディジット:

- **By Host** (デフォルト)。ホストがバーコードのチェック・ディジットを計算して、バーコードと一緒に送ってきます。プリンターはチェック・ディジットを検証しませんが、受け取ったとおりに印刷します。
- **By Printer**。ホストからはチェック・ディジットなしにバーコードが送られ、プリンターがチェック・ディジットを計算して、それを追加します。

バーコード印刷解像度:

- **Enable** (デフォルト)。バーコードは高解像度で印刷されます。
- **Disable**。バーコードは低解像度で、ただし高速で印刷されます。

PUM デフォルト: これは、ANSI エミュレーション内で使用される測定単位 (UOM) です。プリンターが ESC シーケンスで受け取る座標を、ホストが 2 つの UOM で送ることができます。すなわち、1 つが小数点 (1/720 インチ単位)、もう 1 つが現在の LPI と CPI 値を使用した行数または列数です。使用される UOM は、この構成設定で決定されます。

- **Decipoints** (デフォルト)。
- **Lines/Columns**

PI 用紙送りの切り捨て:

- **Truncate at TOF** (デフォルト)。用紙送りは、次のフォームの先頭までで終了します。(この機能は ANSI EVFU にのみ適用されます)。
- **Disable**。PI 用紙送りは、その送る長さに関係なく完了するまで行われます。

Code V 機構 (VGL)

構成

プリンターのオプションの設定をホスト・コンピューターの設定に一致させることはプリンター構成と呼ばれます。ホスト・インターフェースの選択などの設定値、または構成パラメーターは、『第 3 章 プリンターの構成』の構成の指示に従って調整されます。Code V 機構は、プリンターを他の機構について構成するのと同じ方法で構成してください。

Code V パラメーターの選択は、本章で説明されているようにオペレーター・パネルから直接行うか、または「6400 Code V Programmer's Reference Manual」に説明されているように制御コードによって行うことができます。

Code V パラメーター

Code V パラメーターは、次のページで説明されています。アスタリスク (*) が付けられているパラメーターは、デフォルト値であることを示しています。構成構造に入るためにはプリンターはオフラインである必要があります。

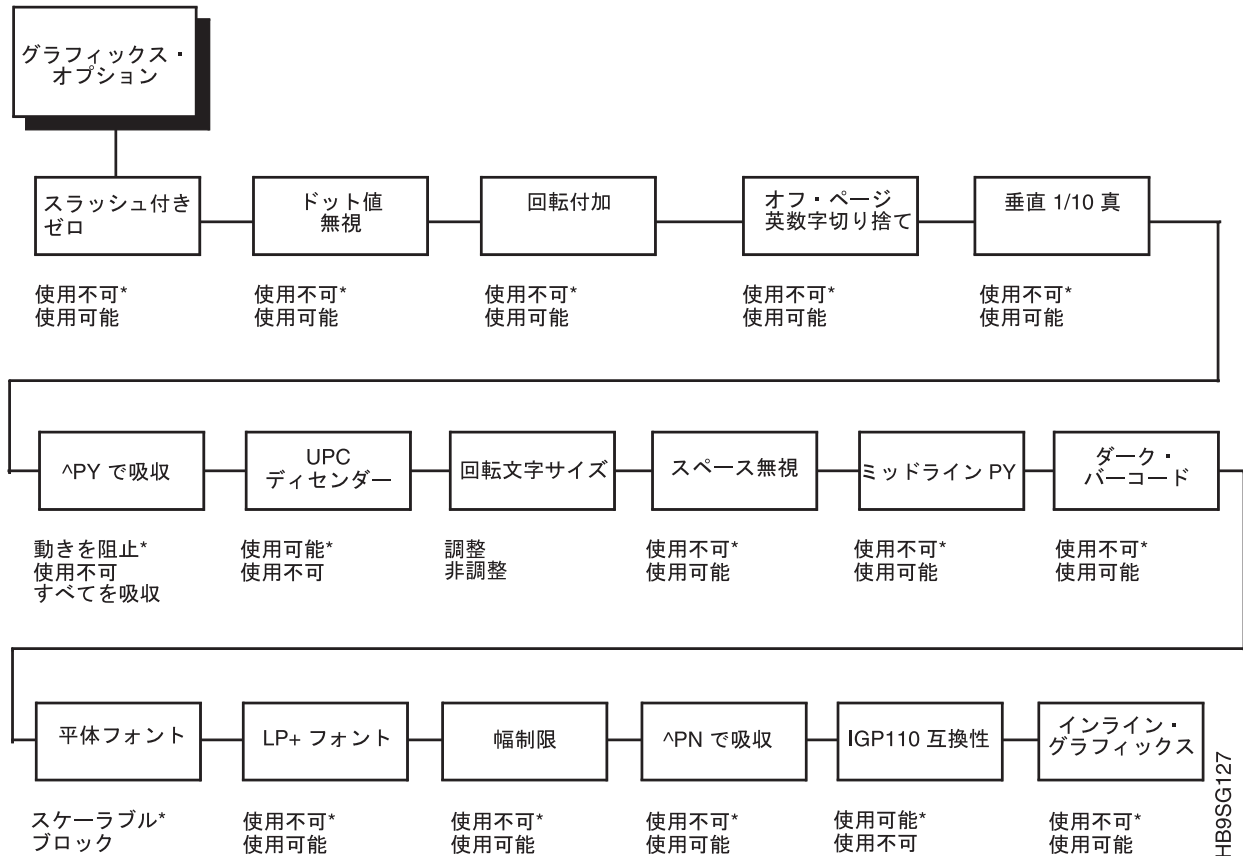
Code V 構成メニューに出入りするには、『第 3 章 プリンターの構成』に概説されているステップに従います。パラメーター値を入力するのに無効な値を押すと、構成内の別のレベルに移動するか、あるいは構成メニューから完全に出てしまいます。

重要: Code V を再構成する前に、構成シートを印刷して、現行設定値をすべて確認してください。『第 3 章 プリンターの構成』を参照してください。

ユーザーの特定要件に従って Code V を構成します。

Code V 構成メニューは、次ページに記載されています。

Code V エミュレーション・メニュー



SFCC および電源オン:

SFCC 選択: 特殊機能制御文字を選択します。有効値は 11 (Hex) ~ FF (Hex) です。デフォルト値は 5E (Hex) です。曲折アクセント符号 (^)、または (cc) が示されるたびに、ユーザーの構成に必要な SFCC を必ず使用します。構成の印刷出力を入手して、現在選択されている SFCC を判別します。

電源オン ^X: 無視モードの電源オン時条件を選択します。詳しくは、「6400 Code V Programmer's Reference Manual」を参照してください。

- **Disable.** (デフォルト。) 無視モードを電源オン時デフォルトとして選択しません。
- **Enable.** 無視モードを電源オン時デフォルトとして選択し、グラフィックス・モード (cc)PY を電源オン時デフォルトとして選択します。すべての文字は (cc)A コマンドを受け取るまで無視されます。

電源オン ^F: フリー・フォーマットが使用可能化されていると、復帰、行送り、およびホストから送られる 20 Hex 未満のすべての文字を Code V に無視させます。フリー・フォーマットについて詳しくは、「6400 Code V User's Manual」を参照してください。

- **Disable.** (デフォルト。) フリー・フォーマットを電源オン時デフォルトとして選択しません。

- **Enable**。フリー・フォーマットを電源オン時デフォルトとして選択し、グラフィックス・モード (cc)PY を電源オン時デフォルトとして選択します。

電源オン ^PY: グラフィックス・モードの電源オン時条件を選択します。詳しくは、「6400 Code V Programmer's Reference Manual」を参照してください。

- **Disable**。(デフォルト。) グラフィックス・モード (cc)PY を電源オン時デフォルトとして選択しません。
- **Enable**。グラフィックス・モード (cc)PY を電源オン時デフォルトとして選択します。

行/インチ: Code V が使用するインチ当たりの行数を定義します。^@L コマンドを使用することによっても設定することができます。インチ当たりで次の行数を選択することができます。

- 6 (デフォルト)
- 7
- 8
- 9
- 10

グラフィックス・オプション:

スラッシュ付きゼロ:

- **Disable**。(デフォルト。) スラッシュの付かないゼロ (0) を印刷します。
- **Enable**。ゼロをスラッシュとともに印刷し (Ø)、ゼロをアルファベットの太文字「O」から区別します。

ドット値無視:

- **Disable**。(デフォルト)。
- **Enable**。Code V に位置値が 1/10 インチだけで指定されることを予期させます。ドット位置も与えられている場合には、それはテキストとして扱われます。

回転付加:

- **Disable**。(デフォルト。) 時計回り、反時計回り、または逆向きに回転した英数字ストリングにロゴを付加します。
- **Enable**。使用可能にされるときは、ロゴは別のエレメントとして扱われます。

オフ・ページ英数字切り捨て: このパラメーターが使用可能のときは、スペースを含む英数字データが用紙の右端を超える場合、エラー 48 (Element Off Page Error) が印刷されないようにします。

- **Disable**。(デフォルト)。
- **Enable**

垂直 1/10 真: 垂直 1/10 インチ・パラメーターが、1/10 インチ (使用可能) として使用されるか、7/72 インチ (使用不可) として使用されるかを決定します。1/10 インチとして使用されると、一番近い 1/72 インチに丸められます。これにより、同一値をもつ垂直移動に $\frac{1}{72}$ インチの差が生じます。7/72 インチとして使用された

場合、絶対的な移動は予期されるよりわずかに小さくなります。たとえば、1 インチの移動は 70/72 インチとなります。同じ値をもつ垂直移動は長さが同一となります。

- **Disable**。(デフォルト。)
- **Enable**

^PY で吸収:

- **Absorb Motion**。(デフォルト。) グラフィックス (cc)PY コマンドでシステム・ターミネーターに続く用紙の動きを阻止します。
- **Disable**。使用不可のときは、グラフィックス・コマンドに続くシステム・ターミネーターがプリンターに送られ、用紙の動きを生じさせます。
- **Absorb All**。「すべてを吸収」を選択した場合、ホストによって生成されたターミネーターが検出されるまで、システムはすべてのデータおよびターミネーターを無視します。

UPC ディセンダー: このパラメーターは、可読データがたとえ存在しない場合であっても、UPC/EAN バーコード内に可読データのためのギャップが残っているかどうかを判別します。人間可読データが存在する場合は、変更はありません。

- **Enable**。(デフォルト。) 人間可読データが存在しない場合であっても、ギャップを残します。
- **Disable**。人間可読データが存在しない場合にはギャップを残しません。

回転文字サイズ: 回転文字サイズ・オプションは、拡張文字が回転される (時計回り/反時計回り) 場合に、同じサイズのパラメーターをもつ非回転文字と異なるサイズをもつ (調整) か、同じサイズをもつ (非調整) かを決定します。

- **Adjusted**。(デフォルト。)
- **Not Adjusted**

スペース無視:

- **Disable**。(デフォルト。) 後続スペースがグラフィックス・パスにおいて英数字エレメントから削除されません。
- **Enable**。後続スペースがグラフィックス・パスにおいて英数字エレメントから削除されます。

ミッドライン PY:

- **Enable**。印刷可能文字を ^PY コマンドの前に出すことができます。
- **Disable**。デフォルト。^PY コマンドが行の最初の文字であることを要求します。

ダーク・バーコード:

- **Disable**。(デフォルト。) バーコードは通常モードで印刷されます。
- **Enable**。使用可能にされると、すべてのバーコードをダーク・モードで印刷します。

平体フォント:

- **Scalable**。(デフォルト。) これらの平体文字はエッジが丸くなっています。
- **Block**。これらは IGP-X00 プリンターと互換性をもつブロック文字です。

LP+ フォント:

- **Disable**. IGP/VGL は、デフォルトの半ドット・フォントを使用します。このフォントは、LP+ の 12、13、15 および 17 cpi の標準ビットマップ・フォントとは少し異なります。
- **Enable**. IGP/VGL は LP+ のすべての cpi で使用されるのと同じフォントを使用します。

幅制限:

- **Disable**. (デフォルト。) これは平体文字の幅を制限するものではありません。
- **Enable**. 使用可能にされると、幅対高さの固定した最大比率に基づき平体文字の幅を制限します。

^PN で吸収:

- **Disable**. (デフォルト。) 使用不可のときは、(cc)PN コマンドに続くシステム・ターミネーターがプリンターに送られ、用紙の動きを生じさせます。
- **Enable**. (cc)PN コマンドに続く用紙の動きが起こらないようにします。

IGP110 互換性:

- **Enable**. (デフォルト。) このメニューは ^IPEXP コマンドを IGP が行うのと同じ方法で処理し、^IPEXP コマンドがそれより前にある場合には、特殊フォント文字を横に広げません。
- **Disable**. 使用不可にされる場合は、特殊フォント文字が横に広げられるようにすることができます。

インライン・グラフィックス:

- **Enable**. グラフィックスを開始するために行の先頭に移動するのではなく、Code V グラフィックスを印刷行の途中から開始することができます。
- **Disable**. (デフォルト。) プリンターにグラフィックスを開始するために行の先頭に移動することを要求します。

エラー処理:

- エラー・メッセージ
 - **Disable**. エラー検査およびエラー・メッセージを抑止します。
 - **Enable**. (デフォルト。) コマンド構文を検査し、コマンド・パラメーターが正しくない場合にはエラー・メッセージを印刷します。
- エラー・マーカー
 - **Enable**. (デフォルト。) ページの境界を超えて印刷されるエレメントに対して、次のエラー・マーカーを印刷します。
ページの右側から開始するエレメントについては >>。
ページ終了後の指定位置から開始するエレメントについては <<。
コマンドの開始位置にオフ・ページ・エラー以外のエラーが含まれているエレメントについては ●。
 - **Disable**. ページの境界を超えて印刷されるエレメントに対してエラー・マーカーを印刷しません。
- オフ・ページ・エラー

- **Disable**。(デフォルト。)
ページの右端を超えて開始または終了するエレメントに対してエラーを報告しません。
- **Enable**。ページの右端を超えて開始または終了するエレメントに対してエラーを報告します。
- **バーコード・エラー**
 - **Enable**。(デフォルト。)
無効なバーコード・データが検出されたときに、エラー・メッセージを印刷します。
 - **Disable**。無効なバーコードに対してエラーを印刷せず、バーコードは現状のまま印刷されます。

文字フィルター掛け:

- **無視文字**。文字フィルター掛けが使用可能にされるか、あるいは 1 つまたは両方の文字が無視されるかを決定します。
 - **Disable**。(デフォルト。)
文字選択オプションを使って選択された文字を無視しません。
 - **Character 1**。「文字 1 選択」オプションを使って選択された文字がデータ・ストリング内で無視されます。
 - **Character 2**。「文字 2 選択」オプションを使って選択された文字がデータ・ストリング内で無視されます。
 - **Character 1 and 2**。「文字 1 選択」および「文字 2 選択」オプションを使って選択された両方の文字がデータ・ストリング内で無視されます。
- **Select Character 1**。文字フィルター掛けオプションについて文字 1 を選択します。有効値は 0 ~ 255 (10 進数) です。デフォルト値は 0 です。
- **Select Character 2**。文字フィルター掛けオプションについて文字 2 を選択します。有効値は 0 ~ 255 (10 進数) です。デフォルト値は 0 です。
- **データ・ビット 8**
 - **Enable**。(デフォルト。)
PI 行はホストからプリンターに直接渡されるわけではありません。データ・ビットには 8 ビットすべてが使用され、80 ~ FF Hex の範囲の文字にアクセスすることができます。
 - **Disable**。ホスト PI 回線が使用可能にされる場合は、PI 行状況を示します。PI 行を使用するには、データ・ビット 8 を使用不可にし、ホスト PI 構成オプションを使用可能にします。

注: データ・ビット 8 はデータ・ビット 8 または PI 信号のいずれかとして解釈されますが、両方に解釈されることはありません。データ・ビット 8 として使用可能にされたとき、データ・ビット 8 は PI 信号より優先され、7F Hex を超えるすべてのデータは、PI 行データを解釈するためにではなく、文字データにアクセスするために使用されます。

逆に、データ・ビット 8 が使用不可にされ、PI 信号が使用される場合、データのデータ・ビット 8 は PI 機能として使用されるために予約され、80 ~ FF Hex の範囲の文字にアクセスすることはできません。したがって、80~FF Hex の範囲の文字にアクセスするには、データ・ビット 8 を使用可能にする必要があります。

フォント・セット: このパラメーターは、Code V 機構用のフォントを選択することを可能にします。有効な選択肢は 0 ~ 32 です。次の事前定義値が使用可能です。

0	U.S. ASCII (デフォルト)
1	German
2	Swedish
3	Danish
4	Norwegian
5	Finnish
6	English
7	Dutch
8	French
9	Spanish
10	Italian
11	Turkish
12	Japanese
13 ~ 23	予備
24 ~ 31	ユーザー定義のセット
32	0858 PC Euro Multilingual
33	0923 Latin 9 8859-15 Euro

PI 制御:

• プリンター PI

- **Disable**。(デフォルト。) Code V に対し、ASCII エミュレーションが PI 行使用可能で構成されていることを伝えません。
- **Enable**。Code V に対し、ASCII エミュレーションが PI 行使用可能で構成されていることを伝えます。

• ホスト PI

- **Disable**。(デフォルト。) PI 行をプリンターに送るには、データ・ビット 8 構成オプションが使用不可である必要があります。
- **Enable**。Code V に対し、ホストが PI 信号を送ることを伝えます。

• PI 用紙送り範囲。用紙が送られる行数を指定することができます。

- **16**。(デフォルト。) 用紙送り 0 ~ 15 は 1 ~ 16 行移動します。
- **15**。用紙送り 1 ~ 15 は 1 ~ 15 行移動します。用紙送り 0 は 1 行移動します。

IGP 機構 (PGL)

構成

プリンターの操作上の設定をホスト・コンピューターの設定と一致させることは、「プリンターの構成」と呼ばれます。設定値、またはホスト・インターフェースの

選択などの構成パラメーターは、オペレーター・パネル・キーの説明に従って調整されます。IGP 機構の構成は、他の機構についてプリンターを構成するのと同じ方法で行います。

IGP デフォルト・パラメーターの選択は、本章で説明されているようにオペレーター・パネルから直接行うか、または「6400 IGP User's Manual」に説明されているように制御コードによって行うことができます。

IGP パラメーター

IGP パラメーターについては、次のページで説明されています。アスタリスク (*) が付けられているパラメーターは、デフォルト値であることを示しています。構成構造に入るためにはプリンターはオフラインである必要があります。

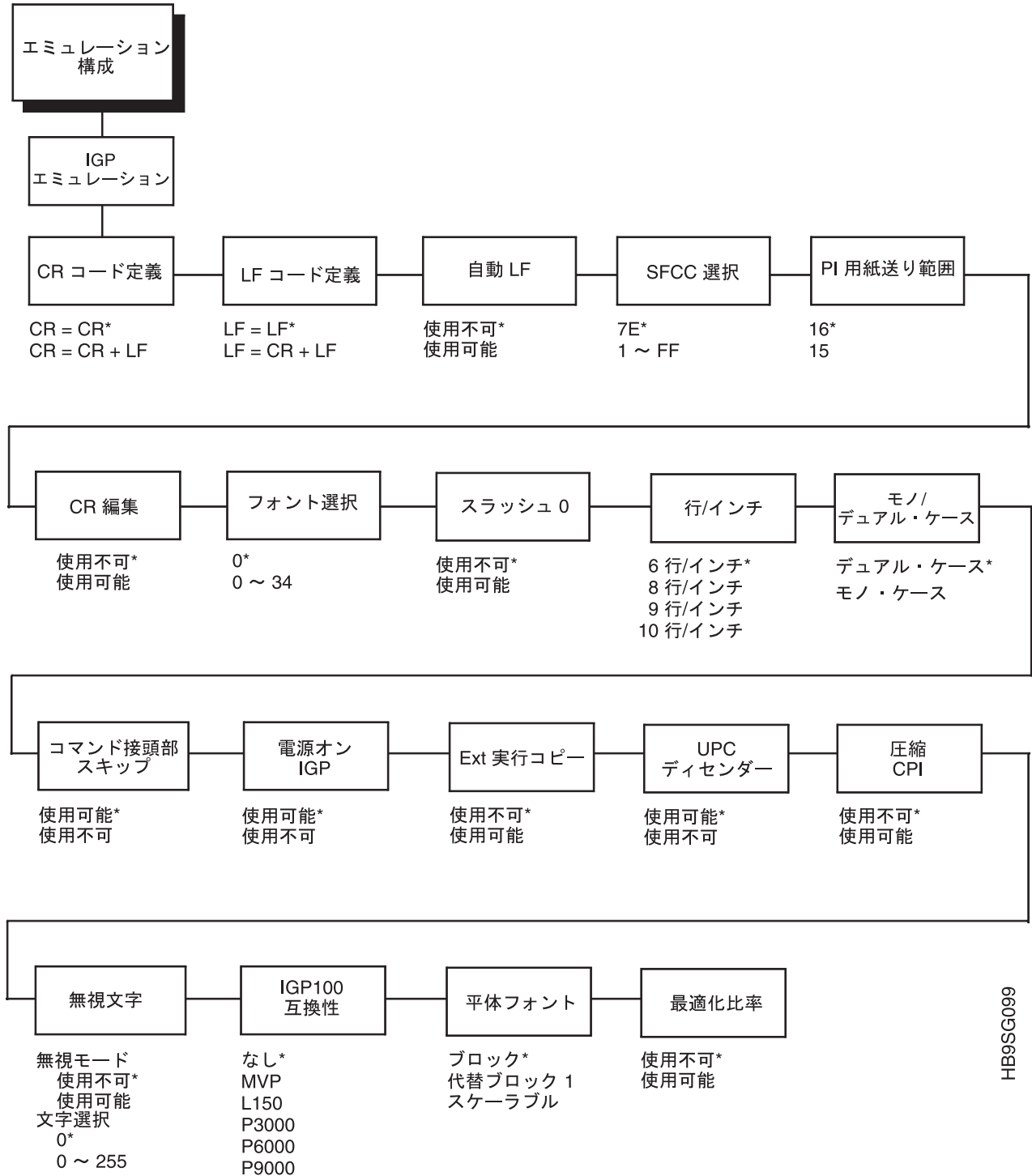
IGP 構成メニューに入ったりするには、『第 3 章 プリンターの構成』の構成手順に従います。パラメーターを入力するのに無効なキーを押すと、構成内の別のレベルに移動するか、あるいは構成メニューから完全に出てしまいます。

重要: IGP を再構成する前に、構成シートを印刷して、現行設定値をすべて確認してください。『第 3 章 プリンターの構成』を参照してください。

ユーザーの特定要件に従って IGP を構成します。

IGP 構成メニューは、次ページに記載されています。

IGP エミュレーション・メニュー



HB9SG099

CR コードの定義 (復帰): このパラメーターは、プリンターに対し、復帰コードが発生するたびにデータ・ストリームに自動改行コードを挿入させます。これは、ホスト・コンピューターがプリンターに Line Feed (改行) を送らない場合のみ使用します。

- **CR = CR。** (デフォルト。) 改行を実行しません。次の印刷位置は現行行の印刷位置 1 になります。
- **CR = CR + LF。** 自動改行を実行します。次の印刷位置は、次の行の印刷位置 1 になります。

LF コードの定義 (改行): このパラメーターは、プリンターに対し、改行コードが発生するたびにデータ・ストリームに自動復帰コードを挿入させます。これはほとんどの設置先で使用することができますが、ホスト・コンピューターがプリンターに復帰を送らない場合には、これが必須です。

- **LF = LF。** (デフォルト。) 自動復帰を実行しません。次の印刷位置は、次の行の現行印刷位置になります。
- **LF = CR + LF。** 自動復帰を実行しません。次の印刷位置は、次の行の印刷位置 1 になります。

自動 LF: このパラメーターは、テキスト行が右マージンを超えるときに、次の行へそのテキストを折り返すかどうかを決めます。

- **Disable。** (デフォルト。) CR または CR + LF を受け取るまで、右マージンを超えたテキストを切り捨てます。
- **Enable。** 印刷行が全部印刷された後に、自動的に CR + LF を挿入します。

SFCC 選択: どの 16 進数コード (1 ~ FF) が特殊機能制御文字 (SFCC) として使用されるかを指定することができます。工場出荷デフォルト値は 7E です。SFCC は、次のデータが IGP コマンドであることを示します。

PI 用紙送り範囲: 用紙が送られる行数を指定することができます。

- **16。** (デフォルト。) 用紙送り 0 ~ 15 は 1 ~ 16 行移動します。
- **15。** 用紙送り 1 ~ 15 は 1 ~ 15 行移動します。用紙送り 0 は 1 行移動します。

CR 編集: このパラメーターでは、復帰の後ろに改行が続くかどうかを決定します。

- **Disable。** (デフォルト。) プリンターは、改行が続かないすべての復帰を無視します。
- **Enable。** プリンターは、改行が続かない復帰であっても、すべての復帰を処理します。

フォント選択: このパラメーターにより、IGP 機構用のフォントを選択することができます。有効な選択肢は 0 ~ 33 です。次の事前定義値が使用可能です。

0	U.S. ASCII (デフォルト)
1	German
2	Swedish
3	Danish
4	Norwegian
5	Finnish
6	English
7	Dutch

8	French
9	Spanish
10	Italian
11	Turkish
32	0858 PC Euro Multilingual
13	0923 Latin 9 8859-15

値 14 ~ 23 は未定義で、デフォルトは 0 になります。値 24 ~ 31 は特定のフォントに設定することができます。 USET コマンドを参照してください。

スラッシュ 0: このオプションでは、ゼロをスラッシュ (Ø) を付けて、または付けずに印刷するかを選択することができます。

- **Disable.** (デフォルト。) スラッシュの付かないゼロ (0) を印刷します。
- **Enable.** ゼロをスラッシュとともに印刷し (Ø)、ゼロをアルファベットの大文字「O」から区別します。

行/インチ: これは、インチあたりに印刷される行数です。たとえば、6 lpi では、ある 1 つの印刷行の上端から次の印刷行の上端まで 1/6 インチあります。インチ当たりで次の行数を選択することができます。

- 6 (デフォルト)
- 8
- 9
- 10

モノ/デュアル・ケース: このパラメーターにより、プリンターは ALPHA コマンドを使用しているときはテキストをすべて大文字で印刷することができます。

- **Dual Case.** (デフォルト。) プリンターはテキストを大文字および小文字で印刷します。
- **Mono Case.** プリンターはテキストを大文字のみで印刷します。

コマンド接頭部スキップ: このパラメーターは、IGP コマンドの前のデータ・ストリングを無視するかどうかを決定します。

- **Disable.** プリンターは、IGP コマンドの前にデータがあればそれを印刷します。
- **Enable.** (デフォルト。) プリンターは IGP コマンドの前のすべてのテキストを無視します。

電源オン IGP: プリンターの電源をオンにしたときに IGP 機構が使用可能か、使用不可かを設定することができます。

- **Disable.** プリンターの電源をオンにしたときに IGP が使用不可にされます。(IGP 機構は静粛モードに初期化されます。)
- **Enable.** (デフォルト。) プリンターの電源をオンにしたときに IGP が使用可能にされます。(IGP 機構は通常モードに初期化されます。)

拡張実行コピー:

- **Disable**。(デフォルト。)
オプションの用紙カウント・パラメーター (用紙の印刷枚数) が実行コマンドの一部として指定されている場合は、動的データ、オーバーレイ・データなどは許可されません。(この設定は IGP-100/200/400 と互換性を持ちます。)
- **Enable**。動的データ、オーバーレイ・データなどは、用紙カウント・パラメーターが実行コマンド内で指定されている用紙の中で許可されます。この場合、用紙カウントが何であれ、まったく同じ (同一の動的データなどをもつ) 形式が印刷されます。ただし、印刷されるページはまったく同じであるため、増分データは増分されません。各形式は別々のページにも印刷されます。

UPC ディセンダー: このパラメーターは、可読データがたとえ存在しない場合であっても、UPC/EAN バーコード内に可読データのためのギャップが残っているかどうかを判別します。人間可読データが存在する場合は、変更はありません。

- **Disable**。人間可読データが存在しない場合には、IGP はギャップを残しません。
- **Enable**。(デフォルト。)
人間可読データが存在しない場合であっても、IGP はギャップを残します。

長体 CPI: このパラメーターにより、通常の高さの文字の代わりに CPI について長体文字を選択することができます。

- **Disable**。(デフォルト。)
IGP は長体 CPI フォントを使用しません。
- **Enable**。IGP は長体 CPI フォントを使用します。

無視文字:

無視モード: このパラメーターは、「文字選択」メニューの下で選択された文字を無視するよう IGP に指示します。

- **Disable**。(デフォルト。)
IGP はどの文字も無視しません。
- **Enable**。IGP は「文字選択」メニューの下で選択された文字を無視します。

文字選択: これは、ホストからどの文字を無視するか IGP に指示します。有効な選択は 0 ~ 255 です。デフォルトは 0 です。

IGP100 互換性: このオプションを使用すると、以前の Printronix プリンター・モデルとの後方互換性を得ることができます。新しいプリンターで以前のモデルをエミュレートするには、次のいずれかのオプションを選択します。

- **None**。(デフォルト)
- **MVP**。以前のプリンター・モデル。
- **L150**。以前のプリンター・モデル。
- **P3000**。以前のプリンター・モデル。
- **P6000**。以前のプリンター・モデル。
- **P9000**。以前のプリンター・モデル。

平体フォント: このオプションは IGP/PGL が選択する平体文字のタイプを定義します。次の選択項目があります。

- **Block**: デフォルト。これらは IGP-X00 プリンターと互換性をもつブロック文字です。

- **Alt Block 1:** これは、非オーバーレイ各国間グループの文字セットにのみ使用可能なカスタマイズされたブロック文字セットです。
- **Scalable:** これらの拡張文字はエッジが丸くなっています。

最適化比率: このオプションでは、Code 39 およびインターリーブ 2/5 を含む特定のバーコードについて異なるバーコード比率を選択します。これは、IGP-X00 プリンターとの互換性のために組み込まれています。

- **Disable.** デフォルト。標準のバーコード比率を使用します。
- **Enable.** 代替バーコード比率を選択します。

ASCII プリンター・エミュレーション

このパラメーターは、次の ASCII プリンター・エミュレーションのいずれかをアクティブ・エミュレーションとして選択します。

- P-Series Emulation (デフォルト)
- P-Series XQEmulation
- Serial Matrix Emulation
- Proprinter III Emulation
- Epson Emulation

アクティブ・エミュレーションに関する構成は、プリンター・エミュレーション構成メニューから選択されます (144 ページに記述)。

プリンター・エミュレーション構成

このパラメーターは、ASCII プリンター・エミュレーションおよびページのフォーマット設定を構成します。次のサブメニューがあります (詳しくは、171 ページに説明されています)。

- Proprinter III Emulation (デフォルト)
- Epson Emulation
- P-Series Emulation
- P-Series XQEmulation
- Serial Matrix Emulation